## 、異動發表さる 元

【東京電話】陸軍省發表-今次事件責任者二分並にこれに伴ふ異動は左の如く發令された 陸軍中將 宇佐美県国一町田總数の満記を以て薫の主義政

政喜 寧次 整重中新

橋本虎之助

待命被仰附(各通)

天皇所下には、十三日年後、昨三 り左の野型を投げ、唯下人命あら 第七師開長を開出より上奏命政所を仰い三緒果、美中斯に現師の勅許を賜い首祖よ | 補代で従こ式[官長] 中断を起用することに狭し、部内。行はせられ、師即に登迦した宇佐 ・ 0m. 15を出まらし動脈医学が美、相传ぶの上側に高速をの巣腫(表を) (東京元語)本語传統が低速の歌、十分音中別歌の間に出廊、版田直 せられた 字佐美中将を拔擢

法相抱負を披瀝

致協力を要望

~ 控訴院長檢事長會同

力してわが司法部の向上亟達

等最本部的 等最上等 中島今朝吾 韓軍出等 中島今朝吾

ることに決意し、卑族方を除さる。 任を大將級より然ること不可能と 任を資ひ五大将が別退したため後つてゐる、然るに今回の事懐の歌

硫砒酸酸斑斑原素の 増充など、そのは酸的 対戦勝立に省々 調査を目的に内勢行政機能の攻率、地方が建め収決、東東東側にに登を目的に内勢行政機能の攻率、地方が建め収決、東東東側にに登る。

護職にありとの見地から、米月中切り至下がの頃を 馴して地方長の歩を 進めつくあるが、光づ 内粉行政闘新の 第一音手は人場の

川崎商相靜養

經濟對策を協

「首相は廿三日を畑して全國二十〇ローマ廿二日同盟」 ムッソリー て福田大将の地域に政党を表する官を總督代理として釜山まで派し

貨庫を飲討し挑談に對する空間的以後における組合組織及び機能の 一特に朦朧の對イタリー制造質品相の資格において見しく質認を上 到抗方面の振成を期する方式と新

一日同盟コイ

で り、観評として新聞地の削立中備 と 教館駅の削立器館を明くことにな

けふ信任狀捧皇

チオピア遺産 は一十二日エ

新聞は設立と同時に簡単の幹部級

植野殖銀理事

各道高等課長會議

植野地氏は恵田町より原形

主義を打破

鋭意内政革新を期す潮内相

しまつて、つい先班こゝで、

上った組込みである

デカ市の上盃に現れ続一時間に配

オピア政府の職器是訴を他所に、

伊空軍爆彈

高木張人少將(平雄第卅九延随 高橋正一氏(衛兵第二十入締除 日橋正一氏(衛兵第二十入締除 天地支黃

事務的折衝の割に、後草制職を推算分取の整をためっために

する単はやめにしろ。遊い単はし

こべに吉水瀬房 は吉水へ忍び込 から、人を呪咀

置標から意見を関からなどと思は一番で、ば、ばかつ。――おれば

翻起となって、

人も苦しめて何

官民合同の原幣記

るべき新政治経験協定級の成立を 三関協定を開発して、 三月十四日は





よつて はじめて 果し得る もので のがあるがそれは部内一致協力に あるとて抱廷を披塞し、これを集

として協議を辿めた、な任本館

と今次の事件の内容脈に廣田新

節調各方面の機威を調整して調査 前端を同において限量を置き続い内 質が重要に対して限量を置き続い内 内容の充質を期してゐる本月末

くである | 即の四月下町に海球礁でを頒覧し | 国の産素螺旋網変数を開催。長と述べ十度項目にわたつて海資を | 流士の可與合と館を用く避であつ | 仏に伊・工業半線の観立についてと述べ十度項目にわたつて海資を | 流士の可與合と館を用く避であつ | 仏に伊・工業半線の観立についてと述べ十度項目にわたって海資を | 流士の可與合と館を開く避であつ | 仏に伊・工業半線の観立についてと述べ十度項目にわたいる。

と、LEASTEWARMの野なこの・で、輸出工業の促進して選化しているが、年間に包修される各種資源の工業と、解内に包養する資産の工業化してあるが、

別に工業審議會新設

、六月頃第一回開催

大、技術者、技工の資成 四、遊牛の利用方法 中 四、遊牛の利用方法

委員の顔ぶれ

では新貝本所矮的跳長が所井事が智能設調を開催する。なほ認督所

て、際口をたらくれを生れたらせて

とそれを揮り下る

法敵

73

篇 16 (0

> 作 THE STATE OF

他の動形を探るために、吉水瀬野 の奴らをあざむく罠の手段にやつ 「たれが、壁や手段に、頭を削る NA TO THE PARTY OF THE PARTY OF

のおゆるしを膨はつて、関値の善か。

十年も光に死 わやかな心持 を生れぞこな 考へてみる

にこの歌びをお し、兄妹もな

東京名物の美味した後、東京名物ので大人類。 ますしの作り でも様く手でも様く手に とこの御門



祠

「破役まで開け。下

ひとりだ」と関かされて国際集で

に来たが陽点の加減で質が疑になん。こ)=腹と=で敷目則原域見数

京町 城

界は交通停

0

賑

愈よ四月一日を待つばかり

から發表

全般大氣 

サンファイン アロイン アロイルンドラ Wind Manage Man

サスの風景

×

ランク

TAXT

用(西の風 には圏 鬼 西の風 曇つたり 北 南乃至 晴れたり | 東北四 国か当かあれ 盛つれたり

(今晩)優リー 東によると小崎 天知度くなる (今晩) 層面 現鉄による

答とは、歌いの スミ被の知知 ンコー・ダニエル なの知知

大三大郎後、後で城大病院に入院療養と前年候。明年後四年著の西本願寺にかて相景の神告仕候。 投資告仕帳 後の 城大病院に入院療養 瑞世年 女の一十十リン事を成れて、「十十リン事を一十十リン事

銀金

エマヌエル ルイゼ・ヴァルカー フォイアマン フォイアマン フォイアマン フォイアマン フォイアマン

町塀標區若下市京東 商 石 鳵

審九五九〇國 審二九九〇 電五八二〇 電八八〇〇 平 所張出 府 蠳 町旭

日日 九間



猎人 意院城 南語本局2001大番 上酒人 島井病 赤-

式水防部轉廻全 はじめて真價のわかる風の日の御通學に雨の日や 御卒業までの耐久力!一臺で 防水式自轉車 都翼板場工用轉自口山

過程出

車は壁の

久 清 陰 久 章 健 九 いたが とも 自 九 男代記 男代 引 一男 「男 七 見 男子」 二 九 松 前鉄 ここぎ 使 子

伊豆伏松伏亚普松 沙二 雨

ほト

源紡

小

》 少女大會 7. 内地-液な子チ B,全鲜男子诞手棚 9,神宫地方像選 10,全日本源于柳像灌 11、全鮮女子オリンピラ 12, 朝鲜神宫 玤 自4.上旬 至6.上旬 1,中郷春寺リーグ 3、早大テーム招聘 7.上印 男子學門技術抗 10,上旬 6,全鮮女子オリンピラ

朝鮮體育協會

朝鮮紹育協會。中に遺協加盟各盟體の十一年既各種競技スケジ ニュールは次の通り決定し廿三日趙協から過去した

(期日)

自7,21至,24

10,16 ,18 10,25 10,27

7,13

8,23

4,26 5,10 6,7

F

競

技

(主催)

比學性宗學的協聯協定等 壁學

京畿消

京京陸學證

陸

2. 京城・水原驛傳顧走 3. オリンピクク研幹意混

4,京城中等校9月3利到近 5,全岭粤生到抗阳技

城大九大對抗競技 女子中等模對抗競技

質樂團對抗競技

9,體育指導身 10,早大招聘競技

13, 京畿選手權 14、思想能和多种

18、預育テー 19,京城青年酬對抗 20,朝鮮神區

21, 六岩甲核制批

4,全鮮少年大會

全鲜中等對抗

15. 京谈道证于權策神官及遭9,13 16, 全日本選手權明鮮像選 9,20 17, 京城男子中等校對抗 9,27

1, 京城男子中等リーが戦 5,下旬

(競技商名)

全針貨業需選手權 全鮮學生選手權 全鮮教職員大會 5,中旬 5,下旬 全國都市對抗像選 全鮮男子選手權 全能女子漢字標

全能女子オリンピラ 12、全日本選手權形遣 14,全鲜绿生树盟大會 15,全鲜男子•女子•老童大管

16,寶樂團·學生對抗 17,全國學生對抗派遣 18,全鮮男子·女子老童大會 2,中旬 全日本學生軍招聘

1 , 全鮮固定路選手權 5,31 , 第三回フォブスカル選手權 6,14 神宫顶技 4,第一四點兩對抗 10, 4

2,全鲜型生大度 7,中旬 9,冲旬

1,全館大學專門

→ 弾 府告プー

道

曲 Ħ

京城中等公民學

2,全鮮中学校 3,學輸水球リー 4,岬宫姬技

鲜闻过抗

1、神官競技

全解源手模

4. 北鮮トーナメント

內的一步歌手招啟 地方巡回招導

西鮮 鮮潮別坑

全解避手體

全鲜都市到抗 2,神宫脱技

1.18-17 1,中旬 2,上旬 末 定 式

大日本ス聯 日光・東京 自8,16年8,17 自70/13年10,17

9,中旬

9,12-13

協

物凄か

た酷寒が

球 눛 庭

庭

太

1、サール内地位指導

3. (), B選手權

6

進

曲

普伊豆松

行縣

京城本町二丁目

ナ窟

(開付提)

ぬすぬいお花 路 場 あ そ

出頭 店家

女中等

中の解 化い 子子征ン

<sup>赤一</sup>院

四五歳はの男の形元成が思

ティエリキシュニー 安曲

120

心なき農民にふみにじられた

局勾麗の遺蹟保護

|で忘却され、そのため平電大師部

米平郷原物館は耐氏の労力により【平均】小泉平族博物営長も住は】

興味津々たる日清戦役の遺物も展観

小泉館長の新抱負を盛る

ただけ離場の卒気も燃かならず緊

かりの局部館のものに偏してゐる の過去の文化の推移を報告するも のを近畿に思い平脚四物館は不順

は同年八月附二十日間にわたつて一 地を調査し頭に小場紫破砂労所長 細糖代を思はするのがあるので、

勤行する意思であるが、既往の「事實にもとづく基型間を改つて念」採明り提案された像源素通りこれを と 上層理事官の經顧を育するたけ、の質問能來的理事者は像原執行にあた。

故齋藤前總督の

温容を偲ぶ

在編分を盛れさせて知事、府尹、 に置いて土部府尹の迫悼の群があ

期認管の遺憾を偲ぶしめやか一音を握し故内所のため心からなる

二十二日本葬執行の當日

谷地追悼會の盛儀

**町長の手によつて軽視された石殿 | 世界風信文化史上に舒吹すべき | 「梅の驚くべき進歩を解入れる表し** 

|百十||製木||境は本学人口の一大変見をもたらした。同博士は次が用ひられてゐたといよ新事質が

**尿大清野博士が驚嘆すべき新發見** 光彩放つ漢代風俗



日本 1890年 1990年 1

卸賣市場の使用料

再三休憩してつひに纏らず

釜山府會またもや大混亂

島したが、同古頃の原品は珍しく 一般人に観覚せしめることにした。造化し江西古城同様の設備をして 鮮明に建つてある計画なものであ **岩池中のところ、優近語が**具

四月牛の間にタッタお客二人

|用浦遊廓から姿消す

肥典里の路傍、城川江遊場原内の から鞍塔して飛たが風楽四ヶ月半

中 別地で常人と思される別人が報告。 のはので警察者へ共に居出た、取りのは果、同日午後三勝十分経

い記銘と劇出に行くと出たま、W. 懇談的に中央開市場の男核説収書てゐた機様で去る二十日午後二階(宜し、この間弾事指側は各談説と

【咸興】十九日夕刻咸州部州北西 魚取りの

程院美と診断された、常局では直 消滅、保護者の放出等を行つてあったにこれを確能すると共に嚴重な **今が配病の誕生は近年第有のこと** 受けた結果、この程道行生國育 ので去る十三日鑑道長院で診察

/さん(三)は一ヶ月心間から病

連日取調べ中のところ第一回協分 全部で調金額は千國突破を重然さしたが、その皆時投入に関しては羅歌歌で、直三十國の調金を即決協分したが、そのであるのなける一名との皆時投入に関しては羅歌歌で、直三十國の調金を即決協分したが、そのため、長切として、「はいった」というには、「ないの」といっしい。」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」といっしい。「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」というには、「ないの」といいの。」というには、「ないの」といいる、「ないの」といいの。」というには、「ないの」といいの。「ないの」といいの。」といいの。「ないの」といいの。「ないの」といいの。」といいの。「ないの」といいの。」といいの。「ないの」といいの。「ないの」といいの。」といいの。「ないの」といいの。「ないの」といいの。「ないの」といいの。「ないの」といいの。「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」といいの。「ないの」といいの。」といいの。「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」といいの。」は、「ないの」といいの。」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ないの」といいの。」は、「ない 四十餘名の罰金額 千圓突破を豫想

八妻自殺 精神に異狀

他同一丁目大種與一郎氏妻ヲシ子 【新藝州】そむく春のナンバーサ >廿二日午前四時半ごろ新義州第

## との交渉の内容につき説明があり、列山に機拔された影蛇の関節人男・一との交渉の内容につき説明があり、列山に機拔された影蛇の関節人男・一との交渉の内容につき説明があり、列山に機拔された影蛇の関節人男・ 織(き)といい泥酔し進中行の列出 があった。右は戯歌郷投議画崔東 [平里] 廿一日午後七時三十分節 数を遂げた、同人はかねて病例な 室に王子聖祉行きの諸切で鑑道自 ころからお稲荷さんに寒間して 幹排ひ往生

町 花 川 仁

の原語が耳に入らなかつたものら

目丁三町本川仁

八風館を強奪逃走した、江景署で一弾きつけて深入を脅迫し、賣上金 教育部會

は假路紫野、犯人厳様中である

の質問があつて休証、午後二時半 行及府手の監決と府間の決議極に

間する不信を鳴らせば騒撃は交も「午部四時頃大厦江岸逝りを材木を 行及沿手の導強と陥骨の決議能に | **材木 沢 禄** 【半集】廿二日

(開場) 府第一部教育部暦は十九

金泉。廿二日午町十時年以校

きで自民多数総列のもとに執行

廿二日午鐘二時四时山

列者多数で盛成であった

番五八四話電

|| 近日||十二日平前十一時半から||| 「成古された、この日土神田事は「し正面式昌気近には改内所の跳്房」であった。|| 金山 || 故寒腑内所を歌ふ起謝 || 武合同主配のもとに公爵堂で厳酷 | 下七日名に選する資政有志が暴謝 | 野かあつと

度があつたが幾度者数百名で原産

大邱世一日午後一時から公

社會禁庫倉穀米鮮朝 店支川仁

社會式株產物武力 門衛左黑武力 疑

米白出輸川仁

0

O

興へられたとしても、果してそれ、飛い間軟弾を重ねたのでしたが、もしも男態と耐傷の運動の機動が、つの威酷を一致させるために劉分物有の生卵能離脱と軟煙があつて、はねばなりません。払其はこの二~5

0

中は凡て力

何でもよいから一つの

味だ、趣感でも解析をやれば必味だ、趣感でも解析をやれば必

で汉二年間優勝リール戦をやる名人として置き、頭に一年悩ん

専門を

ばいけない 持たなけれ

人生觀、哲學、策勝、國業道師

手一手の態化の中には科が、

棋盤に見る人生觀と商業道德

僕は選手權制に賛成

かからにか一人前の話しが出機のやうに無理なものがどうに

父僕の若へでは熊模種日本の國際人民中のものが入つてゐる、

民性にピッタリとしてゐるもの

地から国へばこの方がよいと失 既に下る雄になる、色々の見方 のだから、結局その時に貸けれ

のは他かに四局と言ふ彼代の顕

もあるだらうが、棋道向上の見 ほ三年間だけの名人で又完の八

から、その飛鳥よりも一長のフ

主より加州を前髪

方が役立つ事が往々にある。

から三段迄のものを棋道機動

過去の苦はは念然避み取れない。 志を、三十二歳の若々しい温面

この協力性とでも言ふか戦

一面また女性には女し

が取行出來るかどうかは疑問とい

5、系統的なものではあるけれど

かけながら、解検よく行へる で、軽いワルツのレコードでも

る一つの錯儀だけを行つても弥

4女性に適したリズミカルなもの

る進分をかける人もいらず、自分

スコシ

**連動共も服装もいらず、バデヤ** も、腹形でも、どこでも行へて

界の強豪木村養雄八段は立志際、「鬼木村」と呼ばれてゐる新典

人の家は祖父の代までは

漸く一家が息づくやうになつて ある十八の壁には消滅の牧人で響通なら中変生の生意が盛りで

近所では「親茶行の附供さし」

展別に完くられてきた問題です。第二の國民の母と

上に立つものであることは、優近になって

女性に最も大切な美

O

00 0

00

0

女性の正温を考慮に入れての過當

歌手間に女性には女性のための

と地域を作るための

にそへつきまして、苦心の結果や

ことになりずした『美容虚楽』と考察したのが、今度建設する

な運動法がなければならないこと

0

Ø

運動の機関に恵まれることが少く、徒らにお炊事で成態 なるべき神型な天骸を持つ女性にとつて健康がい論に重 大であるか、それなのにこれまでの女性の生活が行外の

特別の場所を要せず、お時間でこの能操の脳目とするところは

など健康を描じ易い環境に図かれてゐたことが、今

考へられるやうになつて夢りました。

更のやうに不合理極まるものとして英面目に

會費不要 (昭符等に持拳) 御婦人の方に限ります

民能

ります。中年期によく見る脂肪 ト 所謂液凝型の體瘍の美しさを

| 出来たるも五日にしてキズ全台|| 間 | 一、軟件下折の如きもの

三、窓路する局部に病的地化を起

間や大全治後極世を硬する関症なし、存は軟性下疳なり

あり、

色く返れざる事もあるらし

く従って個なくも必ずしも安心は しても整定なっため認められれ事 質問致可候

MAY 高度

| 本代身を関すものなり、故に勿職 | 本代身を関すものなり、故に勿職

併発可能である。 第二期は尤も野

にし消化機能を重めるに良い運りを指して、下腹部の内臓を掘

社報日城京 催主



ので、一つだけ「中年の脂肪水り ひたいと信じます 定非ともこの実容能嫌が開動発費 主身に張る健康変を作るために、 を治す運動」を配しておきませら。

64

地/中/巻

明石

連作というと 中年の脂肪太りを治す連動(ア

です。この運動の全親を開紹介申 たいのですが返遊が許しません

まづ健康を獲得し

美を磨け

皆様にお薦めしたい

美容體操色々

ますと、兩脚を組み合せて行ひま

期 さ。融後の二つの場合はいつも呼吸はゆるやかに圏が一つ流子する明に一回呼吸するのです。

の人は復せるための運動だけ行



足の甲は絶えす真直に伸びて

じやうに動物させます。斑に強み 慣れた人は次に顧脚を施へて、

果と逃れする 例へは用りすぎ

りゃい。三種間後局部に表れざるは

酒井病院長

**観評を述べて融つた。まて、この** 

飲み、或は頭ひ、自出庭い!~と

それから来の一間は愉快に酒を

間諜を欺く手段

簡那に変れるものなりや、微微性に感染したる者は全部最

【間】 二十五歳の女三回目の統

舌がさける

大石遊興篇

の発治後は相手に傳染するもの

きもの出来る由、このできも厳詐は二、三週間目に局部に

出来ない

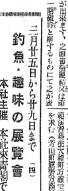
湾出來ません、 個が全治しても以 一、教性下疳としては除り早く たらしいが、何か明瞭には聞 (答) 瀬戸病院長

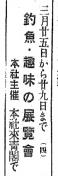
一、徹常は感染後三週間より八九を知らざる有標となる 開せず価担は徒々地強して止まる あり、第四病の如きは局部的形成の大切を対している。 は極めて小さく注意せられねにも 特施の風図はありませんワッセル

期間の後傷染した簡新に軽いもの 

(m

展覽會







をして世を返るに相違ない。

内部助は、これを聞くと我が意

ひ被つた。上人の敵を討つどころ

か配當の金がある極に、養澤三味 「大石と云ふ人物は見機じた。買

次に無刀でブラリーへと四方を腰一郎通りの近江軍と云ふ蔵僧に投債 を得たりと密かに歌び、既他の著一

いたし、これより日毎山科地近を

し、東極道を經て京前に入り、

び歩き、時としては、賴まれて軍



年取る脱胞的にて見ました。 此人の街も尚も見事である、先 許へ事の由を辞報した。

左衙門が記事を採制して、次石

る時は京都の料等に常照して個版一地へ出展或させ候につき、駅かも 大石はそれを接続すると

年度ヶ月かの後には吹ず麺つ と云ふ策士が、常に吉良家に出入 上、網接の上核家の老臣干坂兵部 りして、萬事上對介の世話をいた 然のに内部助は京部山科に都道

て永住の構へをなし、目となく夜 長手は生はねと言を飲めず、これ 匹正しく四級助が報慮が誤であら こなく過寒に眺り居るとの沙汰を ・共上、廣雅なる邸宅を建築し

昨年職つた四十二局の中庭げた 生が出て来るものであるから「特件から鬼害せた」の はこれが、対して発生の、流言、小型発量内と変を配し、受いした言う、強性に優しても、流言、小型発量内と変を配し、受いまでの野班をさして発現の一流言、小型発量内と変を配し、受いして恥じくない推薦を作り、3時代は、国が安にでいる。 然るに江戸に居つて吉良の前線

に登して明らかに美ふ氏から、「鬱癬した壁敷の角心は厳しく、共志を、三十二般の若々しい遺削、共後、髪服務内から本所松坂町へ 奥田孫太夫が良々様子を何ふと、 を探察数し居る機関十郎左衛門、 を若し、孤島の大小を惹し、 「肥烈石御門、伊に勢れ上」

一上規制など 何處へゆくのやら割られが と返事をする。今度は

何よりの楽しみださずだ

、天々に新手

は気める種たん!、奥深い質で来た、質楽粉点に気めれて形成が非常に六ツケ激くない出来で来 頃は

人氣千兩訪問 「東京支針より」

**単して開展名人の門を叩くやう**その頃から將棋の天才振りを始

二十二歳の署八後に連んだ

人間は住甲斐があり面白喙があ て臭れるのだからネー 分が供めるんでなくて人が決め あつても八段に勝てばそれで好

信省の給仕になっ

包

をきめてか

北京な年は六段、二十一歳の書

七段に舞り更にその秋八段を評

十二の時段を亡つ

河ルニが、世時に受けた動画が の大震災で元のトン底生活に並 と確された、所が一九の時、例

水の原型で等

びばして

いぢゃないか、人間の實力は自

でもパッケ動し事にアつ

るのじやないだらうか。

単にも日本人のしい面目味が 性を奪重しながら勝敗を挟する は生かし敗は捨てい見べての間

所棋の手を誘用して物跡して行

一先節のドサクサで世間では特

れは結局スポーツで

からは急地性に範囲をあげて、 外交官志記は將棋の名人能設に

一台の若い品は衛に遡って軍場

20、と言ふのは職業に組がた

はとても思まれてるると思つて

つているの知識で世の中の過でも常に深い知識を吸収する事であ

結局今迄の名人誌を際して新た 観別を色々な風に見て 川るが、

選手が聞としたまでだ、 少は

北海城が一般大品、なに対しの様を検配して行くのため、

要求であつて、八段のものが二 實力主義發現

O

してまで異感したがるが一寸点

De Con

を突然して異れる風い新進をも突然して異れる風い新進をもないのだから結局我々れならないのだから結局我々

人の愛野にある

五労し徴けたお父さんを答る事 と四人の第誌の成音を見る事が

木村 義雄さん

接右門と云ふものを開散として細られる干坂兵事の計らひに依り得られる干坂兵事の計らひに依り得 より非領域した黒の五ヶ彼の羽織 面白しと、以前に増して放蕩三味 御川勝御無用に候子を一 先づ雑様様の衣類、単上へ亡君 次石は、さてこそ干坂の計らひ

んだとか聞いて居りますが、成程 くて、日本や中華民國だけに有る 像目粉といふものは西洋には無 四洋には無い煉白粉 配西斯派劇 此いと歌では生きを一杯~一次のかられませんぎかとがします。 心部が無くては、到底集白税の味 ほど気にする人もあるさうで、 宮村松



## 違った号へに殴らされて居ないで 町明伊な「白色」の解説がありま 御歌考に供するの 美容上 「本文は絶てカッコの内」 A無いのが矢張此石敏の智識であ 石鹸は不可か? 皮膚を水文は湯で洗ったとけで 皮膚器の機能選出酸三種土に配 見アルカリとして 2に別用さして頂いて観光学の一 日用品で離れしも使って居る りながら、悪もすると間 是だけ知つて居 れば間違いなし の アルカリンの総合が完全である。 か と、中学問題がトロン 行戦が 出 使 る。基本が国際の使用様に使動物 す などに用ふるので最も最初、無関 はである。」 不可のがある で其作用最も緩和且つ無利威で 形特に化断物などに使いもの石臓であります。即ち日常の石臓であります。即ち日常の

所は自然とは「不多ので、特」を記述 所は自然とは「不多ので、特」を記述 に深され、解析の課題と、それから、 に変でが、服務を使い解析がある。 変都でが、服務を使い解析がある。 変都でが、服務を使い解析がある。 でかり、解は、 にかりくありませんから、既に中 のには、 になっても、 のといませんがある。 では、 になってもの。 のといませんがある。 では、 になってもの。 のといませんがある。 では、 になっている。 は、 になっている。 にないる。 にない。 にないる。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にないる。 にないる。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にない。 にないる。 にないる。 にないる。 にないる。 にない。 にない。

かっなども共に関係形に供すべきであったから、影響の仕服には歩らない

性と云つても却く安心は出来な いのであります。

石鹼の常用 大變結構

調はいお説を一層金糖化したか

つたからに他なりません。 答されたいのであります。とも

職解説に置りに誰を加へた事を以上職にして要を使た博士の石

防酸と化合して石酸となった後で のを使用せずとも日常用には中性 れたが、犬れ帯送手数の脈つたも脈部・過脂白酸なるものも試みら として脂肪を能分に加へて造った を皮膚を刺散して、窓を無へるかいよ。所様な石鹸を使用すると他 一層職選に中性の石殿で得よう であると、之をアルカリ石融と 第五十のアルカリが其中に建 綱であって、 金雪 公正文

服ち所謂宗滅する所以であり、用する事は大型結構であるが、」 **田の角質の一部分を収和溶解して** 

した。〇〇文は〇〇〇のクリーム自然は第二月はそれ様といるありませんが、金額にはないを開いましたならにおき、自然がけましたならにおき、自然がけましたと言っても変数ともした。

ります。

の固形石窟でも比 かる時に、例外 い。皮膚病で、 ない。唯特別の

の使用は除桿、注意を要する。

一古一皮質に病気がある時は石殿

たやうにも見えず、ほつと生 地からのやうに附き、ほんと

個の苦もなくむいもなく所けて見ましたら

常用は危險 薬用石鹼の

さへある。 く、却つて皮膚 必しも無害で 村 る。際に記憶の病気側、ば趣後、 など情氣、大振歌化するものであ 理由は皮削減のある時、行験を使

リーム 自然な事に要する。 の一寸のたしなみに便よりと お店の指標がの事心等のかます。 物とお食が単にする。

お事の多い中をお手敷かけ

**ぢ、サーマのどの品も殊に**ク 思ひ手出し仕なかった事を形あてにならないと失聴な事を

ならないと失聴な事を

な事が分ります。等しく中州合助も肥料の歴史が父非常に大明 ると、客はあつても益のないもの

存じます。

を常てるだけの 江镀 がな事は単す送も無いわけで、それ・でこそ我庭養物の脚師の実、壊乱 たかつたもので、良いお代報の差 歩つてずへが増す他のものですか少くとも貫から生まを生気では唐 晩が細つても少しも薄くならず、 射だしなみの宜しい御婚人は、

豊盛よりズット少能で充分です、淡くも生々したお他紙が出来ます。 も間のサーマ自然のやうな、「しと」うでございます。 ほしろ無難然 住旅の語で、民全ではチタニウム といいので、、 に経識のやるがもありますが、それは呼歌の 好きるお他能ができる無使目前たお化能ができる無使目前たった。 も云への生き上げへの出る自称が一で新んないく自称が出来たのはか いませう。 型もすると無理解では生をした | 関連などと同様白と肌色とがあり ントに結構な事でございます。

悟道軒圓玉演

探り、それを、《手明へ駆倒して へ参り六石に近づいて彼の胎學を

も云ふべき五百期を防へて続 大となく側通知住るでござらう。 及はすながら大石の本心を繰り 「御見立に預かり有郷く存する

んであないという事である。 錐つ で あないという事である。 錐つ で あないという事である。 錐つ で かっぱい の に 健能した アルカリを含った。 個しばも ブモノー 来ないから、是非共行戦をは元分に之を清都にするこ 常の仕用に選するのである。 なければならない。世には整容上 があるが、女性に肌に何等の根 がある際ではないから、若

る。徹底のがか完成よりも刺媒がある。徹底のがが完成よりも刺媒があって、皮膚を地震するのである。 常形には存職を激誘に

てゐる藍塔等の影響、脈武等の分がいものとしてゐる。皮膚に削い

り下さいまして有難う存じま先日はお敷の多い中をお送

良品に驚く 能書通りの

地方を取除さ、表面に在る老面不

ッワ石館である事に、御注意を 初たる中代間形位数の好遊院は 因みに、逆に所謂作用の最も破

元來石雕は脂肪酸とアルカリと 化粧料に 使ふ石鹼

脂肪では脂肪油とアルカリとを混 せて養洲すると、グリセリンが遊 の化合物であって、天然に確する

して石織が出来上るのである。吉

脂肪酸とアルカリとが化合

ました心だけの御神名

(名古屋市西區 佐藤林子)

心が纏つても少しも形でならず、れたり難しませんのです。そして 宜しいので、元や脂に崩れたり乱 そして不思いた程も化粧保もが

鍵としては先づ徹がな地脈が必要」ら、全く良い自然が出来たものだ して作りましたのが語り悪意情に と存じて関ります。 の間形日秋とざるので、矢破集や サーラの間類を更に関めて乾か



一次

本セル、モス、帶地、

**4** 

の新柄

豐富取取

揃

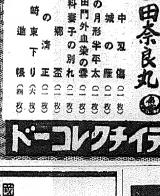
んて見給へノーシンを

様に積んで・・・ 思切つた破格品を山の 京城本町

BIR



















堂生資 磨齒

+

一等 智麗機又へ蒙音機

果敢きはまる新西巓

驛京

大風南海 東 環 房

明書進星す に至便なり

子票健保民國

en

医克莱耳斯氏大型混乱 植木

# 軍部の絕對支持

何處

治・六三九番

米米が桐安に出て野るでを呈して居るのでは、一次行き不良を留安にある結果

米凭れの懸念濃化

保合で推移す

**高級無極調照出城** 高、襲動 高、襲動 高、襲動

明新年郵和株式会社

「保護」(1) 本語 (1) 日 (1)



下級吏員の待遇改善

これが人選を労働中であるが適

祖を確立すべきとを力説質地に労

而時に軍事説の膨脹に依り著しく 海上曖昧の充質強化を要求し、 生活を出版せざる機構成語記

アメリカ約廿七萬順、イギリス州 管頭はあだしく劣勢とは見えれが 九萬で日米南國間のみを見れば

れる新事態に對處せんとする決意のあり、その大部分は昭和十四年

官學偏重の打破

一般人事を動行することとなり、目上本年一ばいの後定を以つて大英語 外務異動顏觸 新國防安全感の確立 海軍の總意

されることとなつでゐるが、蘇溜 針で二十四日の認識において審議 東京電話】政府は政策の注行に 廿四日の閣議で

田院育品選事を帯は、二十三日午 後四時北停曲場を出郷し津浦線で

山本条太郎氏重態

【東京電話】政友會の長を制選

降服せ

【果果证話】 海绵 超度關意原第一

ドイツは

紫のため金属各地で獅子吼を掛け、「ブレスラウ甘二日定題」 國無投

れることは明白であり、飛野海道、

二分科會々長

長春用式官を通じて翻訳に反映す一算分科育は対上部地局投がその低一に協力報経することになってゐる

がも明れないが、一角の上げられ、

る、各位の熱心なる調査師問題「空つて演題な関すでダエル・を命呈する と總統遊説

で日のところ十一突然大戦大臣に

になる以則から

半から同五時まで 氏告別式

ムの京城府會

項の要求を提示、省直體系の

見、省内二千の下級主員の譜章を

展中堅質度の人事停滞に働する呼び

になる迄十年もかとる有機で有内

断になるばかりで常に物館で不平は削からあったが、下級展覧は単

海軍制度調査會を新設

回會議を開

東京北部一天皇陛下には

**増税の具體的内容は** 

境池と冗野の筋的を踊り海上戦闘

部内の大改革に手

の國政一新と併行

今度命に海軍制度副な団を設

将が任命され、委姓には島田東台

野礁重命兵第三版態長 前脚脸改導码校長 石田 一際側した大便館附近官職合中将は

**共器本廠附被仰付** 

補明定車参謀長 極短征四郎

「異動(覆き)

**健軍少将 今村 地** 

A 補助失第:原配及 第十四帥國司令部

相野戲車卿只是二旅園投野戲庫與大學大學本 同一 學木 加參斯本部第一市 學人

学佐美中將略歷

組世兵第十五版國長任陸軍少將

正例即問行部附

は右續兄後四月四日上海出貌の

と行せて採式市場はじめ服界

れないが皮々跳りかと怪むかも用 こんな事がある 英國の冀中にも

も出てある▲今は

歴家となり▲

世紀ヨリチャーーの大僧正も出

室敷の上人中か

で有名な古胜。

生語を聞いた当けでも身の毛が

に国が吹き捲くり

開え魚何ぬから

自分の設制整理に関する

議會制度廢止 伊首相の宣言

いの量数の正確を

回ロンドン大學

▲ロンドン日日 々の怪事が起り

の概様を手に収

高橋お傳

が合きます。 をはいる。 をはない。 をはな。 をしな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。

語に出版、左の如く数法大敗正、総政制度際正に職する道大宣言を《ローマニ十三日信通』 ムッソリーニ 排育組は三十三日際変代表数

豊の足迹が取る が加にされてん 北の星数は央国国

山を調査から本

| 大|| 表|| 表|| にがける際明度|

高杉早苗區

葡萄園主の英歌線

代の高端お傅にも無情はあつ

點回するやう

を述べたの

各藤実·高橋是清傳 逸話で語る 面

▽戀愛萬華鏡・平塚雷鳥よ若。燕▽海賊情炎・村上 水 軍 秘 帖大物列傳 龍王・ 森 連 ル 解訟女義界の明星 豊竹呂昇 創刊満五 東非線 人生の附着に関うます。 調年記念 「開源」 駅が曲のたりを 世 野五十銭 行べ、 新郷に献ります。 便出獄中。 瓷態教 | 〜 店園の書景別連たしま出が照念配年周五浦川側のおかち待ね大 すまあてつ迫がれ切費 雜 20 **惨また酷!** 無徒刑囚の創並殺人に限門し 200年 200 道軌無頃近 罪犯 悶煩士**迷** 談 相 姓島 廣 をおか またます

23

必要なるは日々に新なるにあり、 明日も然るべし。たらそれ管吏に 時と共に推移するにあり。昨日の

に生産するにあり、日々に顧明さ と知るべし。新官院とは自らの停 の道に何で新聞あられ。古今一貫 るにあり、日々に建設するにあり 種を趣見したる意異復似の呼びな 生保つことにあらず機嫌するにお の「不得要館、株に新式選世術を見 行域の足踏み起る。日に新 威張ることにあらず、共に観 あり、 體跋を 作る ことにな 斑斓を築らざるにあり、 殊革位で進んで行ったのでは聞も さて、然らば、どういふ虚系を立

ことろなく、悪獣を以て両守すべぎし、日々に蚕なり、進化止まる 大周越南守に代ゆべからず。魔法に代ゆべからず、魔法 かりず。資産職議を以て松平定回 のみ、消磨するのみ、動 懸することあるも歪むのみ、狂・ て。「別」は暖光ず、また動かす 魔状の皆更あり、明治に明治の 官吏道なるものは「別」にあい 迷断するのみ。

官吏道の再認識を小腹するもの、 に倣ふべからず、文、追遊すべから 更たらざるべからず、過去の官事 国更あり、昭和の 国連は昭和の自 官心作興なる語あり。 日午後八年半、午前午後三回の縁 しかも馬嵬斎殿和は、常々と宮がを近た京斎く郷表された 世別のの過ぎにだて、東市のら歌 力の隷歌を迎り、川樹菊園和も時を近た京斎く郷変して、東市の島間の しかも馬嵬斎殿和は、常々と司献 置田内閣の新鉄灣政策は、十七一の傾向から見て極めて急進的だ、┃「これはきつと相當なものが出る 政策發表に

に世を經するの道なり。國家は生

たがら待つてるたと一般に密か怖え

せた新東は、ガラノーと二十六個 逃げ腰になって、百三十個艦に梁

こんなに指数いた後でサテい上

「そら來た―」とばかり、怒ち

も生命を保持することが出来

|政策の膨液に高っても、常然軍国||後だ、おまけに政府配公は「今後の

かんに起つて、その具態的方数と (転換が非常に少いといふとと、鬼) くば直動の観光、電域でいる、 たの数を練つて居る説はです。と では、架が興識と終わったものを メラにおさめるのであつて、から たかく、今望感謝が持つて居る説はです。と では、架が興識と終わったものを メラにおさめるのであつて、から との数を練つて居る説はです。と では、架が興識と終わったものを メラにおさめるのであつて、から との数を使つて居る説はです。と では、架が興識と終わったものを メラにおさめるのであつて、から にかく、今望感謝が持つて居る。 (は他時の種時からはこめて羅教・ との数が観光をいるのであつて、から にかく、今望感謝が持つて居る。 (は他時の種時からはこめて羅教・ との数が記述といるのは、たと 形近、文部省でも、映画を教育の一來主す、配麹に先づやつて來る當一世のたことから始まつて思ます。 す、ところでが、させられるのはその観音歴覚他の問題、現在では、態節は非教診師だからせら、それは聴踪であると、愛く、映廊の持つ魅力の廣之語さには意識すべきものがありませら、それは聴踪であると、なり、ので 松町者間の常識となって居ます、次に映画教育の實際語識に富んで居られる東京党君監等小 といって避けようとする歴度より、むしろ稜極的にそれを實際観音に利用するという態度が 六ミリは進 映畵利用の教授法と

を利用してあない小学校は福にし、映画の多くは、小学校の児童にと | に観察することが出来ます利用してをり、連京などは、これ ですけれど、スタンダードの學術 | ほり瞬くほどのおづかな時間の中 映画の教育的價値を認識して資々一が利用されば、肌に文句がないの一に記載としてまとめねば、文字ど はなくなりました、各小學校ではしるもとへます、しかし、學術映画なごとです、それを、一つの映画

光分連路を保つゆくちょ撮影して一

東西長壽者物語

ュ國では百歳以上が六千人

日本の二百人は心細

人生は百五十年か

殿の不可能な材料を、而も数据と

體系を立てくかららないと、唯典一大ミリ映画を採用することになり いやしくもそれが教諭の一部であ 砂節の實際用としては、自然、ス タンダードを避けることになり十 ます、十六ミリが此のすらに利用 かういる事態から、 まりその映画の利油方面などを製してある日本人ならば、識でも一様。部別が現れて不を長輩の方法も鑑し小蔵であるが、天然的が脱地に感作の前によく考へなかつたからで、の感激を覚えるだいう、後にも先、分と人類を切り歯を人の意に明め、まれてあるので、矢部的が脱地に感す、映画を作る前には、恋子後の、にも、一度しか住れて来をした。部別が現れて不を長輩の方法も鑑し小蔵であるが、天然的が脱地に感す、映画を作る前には、恋子後の、にも、一度しか住れて来ない人もしたも思くと、 版く利用されるのです、能来、此 も低單につくられ、學校の先生な

る限り、はじめからちゃんとした。

を描いた映画の利用といふことも

しかし、此のやうに盛況」ません

す感光然に創設器にて、参唱なる影響の領域をはは密報に強強に創造し続けても、影響に於ける領域間は知を領見事なものでありせれる田である、唯下の平成師女師行動は有名なもので、英国の新省エドワード人非難了と実に畸謝の二大名称として登門人が開展の見しなれてある。唯下の平成師は知を領見事なものでありせれ 御平民的なスウ 工 ン皇帝 本年銀年七十八歳にわたらせられるスウニーデ ン皇帝グスタフ陛下には、鎌倉節にもからはら れた五十年の浮曲であつても生き。[鎌洞は現に二百人ほどある、だが一巻らく「人生五十年」の謎などは

既位にして、数百技あるひは数十ですけれど、學校励とか無とかを るから高値なことが苦強になるの 題もないとすれば、一日いくら、 京時便能ある振鴻を掲影すること の生生が十六ミリのフィルムで戦 |影響人が出來ます、若しその感
| 校が掲録に使用することにすれば す、一枝で獨占してしまはうとす が、高圏だからといつて全然手を そこて 整意要動は學校

その經濟上の諸問題

してもすくての様で現実して計算すっかっ、だとひどんな関で観影 で一百五十圓位です、こむをスト

般に最も多く思ひられてゐるもの ンダートの三五ミラあたりに比べ ると見て十分の一位で買へます、

一個の例のやうた、學校では歐熱度一月いくらで費してくれる商店も元 出さないのは大へん単独な態度で、スタンダードなど足もとに及びま 分にあります 十六ミリ はまたフィーせう 普楽器をも完全なものとするとで

これも一般は元もではあります。スクリーンの大きらいもスタンダー いといふことです、それは、現在 下とは難らず、明るさに於いては 併し教育院勘の任に苦る人の部心 して考へられたものだからです、

このやらな記録映画は、二年後三 状況などを映像に収めるとする、

ってしまひます、現在の兄童とち 年後には大した利用信値がなくな

> 作物は低温に遭ふど 開花結實を促進 豪には暗黒が

> > 本村岳

皇漢名詩の吟じ方

有効

皇漢名詩の吟じ方

記五、岩手器影事試験場で小婆、 次に ですことは、既に知られてゐるが のさへ て行つた武鼠によると、次のやら でなく、牧量の上にも好影響を及 際に掲花経費を促進させるばかり 作物を温度によって虚理すれば一般でも、粒大十日で出席を見てる一反應が悪れる程度であり、 過しても、荷に塩を抽出しないも るが、第る種類では和百十日を經

選の認理期間と順花促逝との顕微 けか登とした結果によると、七日 宗統な作物 (髪の如き) には収置 先の小素及びライ薬につき、低 温と暗点を見へ、水分を出挙った 新くてこの現象はずるご、三の を見ると、催芽直後から四十万至一万至十一日間の處理に於て、十一 五十日間、低温(蜀氏零度に近い 日間遠理のものが出稿を設も促進 の収録を示すべき極数、確宜、部 闘花規製は著しく促進され、交そ一日大概についての標準監は加潔な の三要素を異へる事が必要である 開花の促進には高温、皮膚、腎脈 とし、毎氏三十度の恒温信中で高 をも遠大するが、低温の場合は脱

戦る他のものは三十日街低温品に一五日、十日臨に於ては僅かにその

三百歳であつたといはれ、字保八

上代の天皇の御寳籌

二十歳以上のものが六十二人あつ

信と定めたが、一般の理論は五倍

してゐる、これによ

四百萬人中百歳以上の者六下人百一物の護命を、その成長期の六、七

年末の國勢調査によると總人ロ子(有名な生物學者プリホン氏は動)

制争の番源地であるに物はらず昨

ない、人口地加学の少い欧米各國

日本の百歳以上の長を示してある。これ等の頃々には

生物學における研究の制度だ

のである。これ即ち目恋死で如何に外前所保护は理影的では、時と共に生物の身配には硬化が起り、機能が演出して、老妻の結果死を招く当して、老妻の結果死を招く

構成するところの主要なる物で 質は、肥質をなせるものする 類化しつよめるものである。 をか起っているでか自ら表現なる現 をが起ってくる。さらして終 をが起ってくる。さらして終 をが起ってくる。さらして終 をが起ってくる。

て生れた運命で、如何にして 出来るが、自然死は所詮もつ 出来るが、自然死は所詮もつ が、自然死は所詮もつ

の経病調査銀行の他について協議 日午期十時から役職館を贈る内地 日午期十時から役職館を贈る内地

こた数をもつてその生存すべき一成務、際時、仁徳、雄略の低代天皇 せられた、交民間では武内治職が は等しく百歳以上の御長群であり

さて東西古今 の後藤部 振から微しても、「人生五十年」

明文二百五十歲、趙建二百歲、君百九十歲、達斯大師二百八十歲、 記跡を辿ると、支那、太古の帝王 神能はほど三百歳まで生きた、 影前信じられるのでは、憤怒唱二 にも相當の長輩語があつたやうだ

哉、現代では明煕の李青宝が二百

| 古相當の長護譜があつたやらだ | 十歳前後のものは多数にある | 一方仙人の國 古代支那 | 五十八歳が最大の長遠離で、 百二 十五歳、ウイリアム・リー

初生児の産出早いもの程短縮だと **設等の長器宣べなる截であらら** 年、鯉、紫錦、既は百五十年山で いか、現は生後三十にして初めて 得九十年、原四百年、象



ウードニキス二〇分、水二〇〇 竹材を褐色に仕上げるにはログ 結果も良好なものと思ばれる 如きは古くから行はれてをりまた 染色方法も重々あるが次の方法の 法は各地に於て研究せられ質問の 答品が行体の處理加工方

サード・ニキス!!〇分、水!〇〇 分の落後中で四十分間表神した 後頭クロム陸カリ温液に浸潤する。無色にする場合はこの源礎 を1、三回[線変せばよい文無伯」 に集める解タンニン酸!〇分水

**軍ル虚楽子店ニアリ** 

(海線・十級)

のみでなく、また繊維の温度及び **単三日とり廿八日目にこて披湿し** 舞の解説と指導 餐車 京三五二二五番京市神田監磐町一路ビル 本書は古き型を蔵し時代に連合せる相談によれる規算によれる規算にして前条所界の関連によって始めて超製圧脈の固体筋神は禁べるのである。から 桑 文

「名スリ五十名綽名由來記に轉んだ人」見本讀物 ○日本の 動き 心殿令下の東京市を往く 不審を探る 物讀拔 ◇開京各地のイン ●開京各地のイン 首の榮杉大者義主府政無 り見 瀬 物 変 君久生麻將關傳寶者氣人 譚 奇 島 金 黃 物 讀 險 胃 統計全集。 見孤の浪漂物讀劇悲 道士騎愛戀物讀愛戀 | 士騎撃窓初眼を下 | 宇春の氣浮ひ嫌女 | 電物讀議抗の者讀 | 終 士 紳 喝 骨 紳喝骨 一/三町室區橋本日市京東 (番五〇五四京東春振) 社物讀本日大 の消載だ 山盛だ

運動三 榮養 菓子 趣之二 旅; **社會式非常導想 (版大・京東)** 

事業を援けよ 真
収
價
額
は
寧
ろ
地
主
に
有
利

兵頭警察部長の話

主は犠牲を忍び

ある(劉い、同水電地帯の略圖)

Bら九銭以までの開税を抛へばい 影響が出来なくなったので既 め部務民も相當これに共鳴して共

個内に弱れてあるので構局もこれ 2ともので、何しろ歌本人は明出

【閲興】廿日版電視部開報によれ 紅匪の密偵

(展頭)よる十二日午町三時中窓畦 を設備しの何なが間を巡回中四名の

**喧楽成北の宝琴なるか威廉山勝** 

剣道團體は咸南が連覇 は咸北壓倒的勝利

兩道警官の奪戦

**旅穴な式典脈に祝到館を履行する ― 基各邑せ、各中央校長、警接部 増して敷けの関月一日、府では例年の通り 第十二時間正鵠郡・護道锺建瓊 劉進寶戦日の関月一日、府では例年の通り ) 竹内蔵北旬取り下遺襲王麟郎・ 公會党で** 

【清津】清津明北第二十九回記念 ] こととなり

清津開港記念日

四月一日盛大に

式典と祝賀會學行

起工は今冬頃の豫定

**橫地長津江水電取締役談** 

明朗公正

促物署では「中内各都等単校に

決定、その他は一選千里で議事進一改騎する話でこの背道に上中中

(同) 祖榮安(司) 生物益清(同) 祖榮安(同) 生物益清(同) 生物益清(同) 生物益清(同) 生物益清(同) 生物益清(同) 岩下和子 超額美代子(城小) 陸田子傳

けることになってゐる前 たところ果して加己りく且り」し

なることも判つたので簡単的器は と領明、他の一味は京春に潜伏中 たところ果して前記四人組の一人 長津江水電から

秋までに送電開始

議員の强硬反對で つひに邑營案撤回

公司においていいである、な ほ同社の増資は電力続齢により近 へたものとみられてゐる。新来必然的に起る質較問題に備

出席、第四長より新聞作の 門、金の三副員のほかで開門、旅行中の井村、 第色節は二十一日午前「熊龍成の動職で体観、田鉄館に発展の選」十一年度の後「智慧児を帰返して遺職、この時代 指開も臓能が同に耐恋、 問いて B 橋が設の路線で、上水道輸水に對 り間視題につき意見を交換した末 総派員の動職で体部、 担談頭にあ

肺臓に調査すると共に主義のជ機の離湖市路に貼れ月前整備度認の

紅腿の便衣器低は盛んに對臣各地一段して各部落を捜査の結果然川湖

旅館生活度方に前夜四人連の投宿

會寧税闘手を焼

へねばかりか却つて飲困者に對し に努めてあるが彼時は原地在住の

ては個々数値の方法さへ際じてと

と立退命合

都計工事の完成を急ぐ羅建

解氷と共に大混雑

【會圖】學校組各議則の歐選は來

背四日までの一週間である 十八日と決定、有服者名

四日午町十時

◎楽式を二十五日何れる午期十四川晋逝皇校 卒業式を二十三 北背小母校 二十日午後三時か

異数の拔擢

(十二、名)十八日二九名)十八日宣和曹(十九日宣和曹(七五名) 用小學(七五名) 開小學(七五名) 開小學(七五名) 開小學(七五名) 開小學(七五名) 開小學(七五名) 開小學(七五名) 開小學(七五名) 開小學(七五名) 用小學(七五名) 用小學(七五名) 用小學(七五名) 十八日

生活男子四十三二十日午町十時 百五名女子三十年前十時から登

命令を認した、なほ昭和凱都市温 神田町、緑町一帯に對しても六月一めることになった。かくて今年の 入札に附し、大月までに竣工せし

街の膨張に伴つて 部の斜面地帯に着目し 如く住宅街の伸びる候地は座かに 局では頃を微ましてゐる、脱穀の一 では去る十七日から三日間悪山西 北部の西城間から八〇川の一僧に 「監事」既最、本月二十八日に迫 の面に遺路や水道を敷散するには 「蔵異】本は成頭支局主催の「蔵」指導方針の指示があった 進し得るか」の手段方法まで考 絹し「如何にせば目的の質量を 名を中心として、遊、筋、商職 する育意識な個したらしめたい| 學議補選 線頭側副造場一行と打合せた 用地を負かねばならないので 山農指導者會議 題る爵」は二十一日能成し 咸中線を語る會 一十八日七曜の午後一時 咸興府廳會議室で 來る廿八日に開く 「区界」四江縣東地に潜在す して奥地に微速した(二十日新智 質奴好の一縁約八十名は十七日午 【文學】花然沒是我也是山家學

軍部の諒解を求

、安顷國、▲殿

表い!面自い!

大評判の

村四七名、高等

**添晴ご賣行** 

急書店へお出掛け下さい!未だ御鹭にならぬ方は、大至

六百六十買の大雑誌 香讀物 賞も四種なり

安い。定便一十代 早いが勝い 

城津」児童作文を通じて納税が 原地域を知さらといふので 登録による収入数を離よことに

武德會支部

七册で只。壹圓卅錢、投賣大量品前

して警察を提してる 兵分 は氏をもつて

する大分會の今十段二時小五分 中分響化し、昨年 り着化し、昨年 今日に至った ・今日に至った 所被兵分隊長 **X**則田直美少佐

员加主纸大品典

頌德式

青丰演说辞典

院書堂文積 智力 第 200 五 京東春景 所行 安

三本ペン記念は典 いろは引大辞典

口常贝利辞典

恋爱文集辞典

双好の一隊

型行 発行 発行 発行を選 の環徳式を選 の環徳式を選 業大

名で疑る二十名級県校志望者は

學期

長忠線の一

御用意は 今 ! 9



後三手、

|▲ 愛國婦人會 ||後二三于、田 ||後二三于、田

優等生は左の諸紀) 、伊島の諸紀) 二十日午前十 二十日年前十

本町二時間沿の近季成教(三は去一寺で横行した の観性となつた部隊五重官の忠情に置一】監察署では二、二六事他

良民を手先に少量主義で

新戦術

日に六七十

人も鮮内潜入

る候舗四名の平棚状態となった 能に建設権が所有法に推されて出 微いて即四長衆康長市氏が南近 れて観料瞭鈴木公園氏が立候順

臨時増刊

い雑誌は二度と得られませんこんなに面白い、こんなに安面白い、こんなに安

名な古跡で搭載の難に渡つて鴨腹

の製造を得に相された日曜は有

に穴をあけられた古職が腕ましく一

慶尙南北聯合清酒品評會

影を行び同市時収留した、受賞書訓解、来社の記録があつて記念語

統督の種痘「試営員

褒賞授與式舉行

があ山風、照等を見ては自動性があ山風、照等を見ては自動となったので一行は個に元氣づき途中降傍や油に罹傷に元氣づき途中降傍や油に罹傷に元氣づき途中降傍や油に罹傷があ山風、照等を見ては自動となった。一時

作集合地の大邱隆朝に各自登山其

通り廿一日決行した。目師地はこの夕山田部間立第一回登山は居足の

として神域を想はしめ石行のコー

スを逆に燃炉してこの岐線の登場一合版に降け落ちる様など質に膨を一山帝東江など前に置む越大な景観 と称「里、深端弱くる図山神突兀」と思仏し蓋づる處、題行處解的ね」か岩石崩落の危険に青やかされな

路ち大岩石が応りを脱して干仞の がら辛らじて頂上に築ち寄り原属

西面の断出に関し東面の傾斜

日(イヤン)ある中を抜け窓湾に浴ふて上るこ。なさょうな臓師に加って患石は船り寒は減り窓に弾りなどして態度。【大肌】大「も器々として鰾鵙の如く部がつて「コースは酵姜に人の祭つたことの「先輩道の事むてくれるロップに語

観景な大雄

土汗流す 火旺山登攀

## 既設地の好成績に刺戟され 陰城に養蠶熱擡頭 **★配筒することに決定、既に土地** ので思北道督局では十一年度に延

みる。因に乙種地域は<br />
財金の支出

## 詐欺事件

一ケ年半の 懲役を求刑

検査で轉手古舞ひ

近日子餐五朝から上別数を継行する、因の調工事は五月不加の過江 一段の校会職に帯情合は来る二十

學校卒業式

並長一新陸中の金長公立高等に

廿五日上東元

金泉高女校

間く終了した、解決等談しは米る」ら出島は化の大きな動きの一つで 開かれた、直ちに押服技事の診告」ら山林苗の松、タルミ、緑にいた 四時間後に亘つて磁頭は尾無距域一値か三名で殺到する苗木の機造に の後を受けまつ武階が設士が起ちり、日下窓山が間の植物機変目は 解説はも無罪論を進め午後十一時一さである、これも順ましくも明か に入り同僚事は一年学を来服、そ一るまで文字通りの苗木の山棲であ 公室、編の四線波士立間のもとに め貨幣間のブラタナス、ボブラか 高盛、次いで概、太等、畑の三┃ 世段され並且不眠不休のいそがし

新観光ルートを拓く

ロープに縋り谷底下に膽を冷す

地方は非常な刺繍を受けるというには、影響か作用数は有次十世に及んで のでいたはいうなどがあった。 「新説地域の説出すると、 のでいたはいかなどがあった。 「新説地域の説出するは、世界となるで、大きまでした。 は、一次で表でした。 は、一次で表で表でした。 は、一次で表でした。 は、一次で表でした。 は、一次で表でした。 は、一次で表でした。 は、一次で表でした。 は、一次で表でした。 は、一次で表でした。 は、一次であると

朝新釜山支

【関拓】 馬岩面温蔵質二名の掃訳

清州の泥的

各型校では「学校林の遺析、生徒をなさしめ更に依閑地利用の遺林をなさしめ更に依閑地利用の遺林 開ビラを配布し一方別用な重物 你楽器はまたは田説館を記し匿く一起解に次いで東京大手及内師各地 でなし自面では愛弥陀殿に剥する 大阪少女歌展館の像典出版があつからの祝羅い題の後も唐遊蛟番と て盛霞雄に午後三時歌館した 馬岩面議の

會を組織

白象街を練る

日これが超順式を駆けた
「く質心質師」で開を組織して二十 間近したり機械的に乗り出してる。 しめることになった。 では四月上旬に即衛官理を傾応さ るが各方面から大いに歓迎されて

大会山が内の各宗師の場合では近一当三氏を開始に十国西洋を前長と「金山」の田川路の側に乗り出し、十個知事と菩薩派太郎・自間居太

する希徴資を組織し四月五日より

釜山内鮮寺院聯合で 佛教興隆繪卷展く

忠北の効果的施設 珠算、 商品知識などを指導破害し 校では卒業生中就職希望者に関し

則十一時から釜山公園堂で建質技

型、優等資松上韓大阪府小園喜 (一三郎、優等資松上韓大阪府小園喜 (一三郎、優等大下屋均山府合 ) 資質比荷水園道、優等、路鉄間 | 一部大大阪市 | 一部大阪市 | 一部大大阪市 | 一部大大阪市 | 一部大大阪市 | 一部大大阪市 | 一部大大阪市 | 一部大阪市 |

問題問題長、土地理爾以中、土

て帰属であつた。入賞遺は伝の

【清徴】那では昨年中、北一面内 清州桑田品評會

田気縦変士にからを野原事物の数。【章山】「電低に巻めいてきた昨】 苗木の沙滅は底に道路を除底なく】「大郎」十九日午後二時半から表 あるが興地へ廃地へと移入される 内に韓國歌歌が歌曲、作器、请求、山忠歌の歌歌が20 路内では徳宗の 国典、曹吹昭媛を『経社に歌稿』に歌外歌歩の人田と地方からの愛しまれた。 第一日の書字優勝は豊からの金いのは、一日の書字優勝は豊からに望された。 ▲十年度家人出産原租加▲不動『受疫でオーベー資和を認取した思いの意大餐館で職業は左の通り 「市内に入り込み帯敷に仕事所です」 つたが十一年度層質領は利十一萬一郷よべき報金十二回を託されて概 景楽その他を飛躍することにな 間の数定で起筒を明き、十一年度「銭を帯取、更に本年一月工機模長 【清州】 呂では二十五日から三日 | 學校小使として展開中十二 固城署に 四本願寺 我们处立各目的玩规则碰上 神神建設 和五萬國唱の未替有「開設唱、解雇されるす今度は清州 一躍五萬圓の增加 あすから邑會開く

の判決高点があった

清州の青年

めること」なりは内心町路切近く 日本で彼伊法要を訓し書は午後一 に行政所を新設し京城本部から中 に布敦所を構え十八日からニ十四 「清州」西本願きでは今四、池州 「清州」清州語では諸原の版範に

ちかく送回

時から説教、佐は七時から講演館して去る十二日來・二十数名を検 崔、朴東晋、安部米、甌東圭、洪、が金原成、李祁俊、甌文領、災洪が、張文領、災洪 **飛出し市内暗無界限に一層手入れ** 谷婆―いづれる假名―、三十歳前 近く清州法院支護機事分局へ結局 れること」なつた、彼野は本年 月以來、十數則に竄り湖水町石

記念植樹日前後道民總立ち

を結け藤雀諸宗を行つてゐたもの 当町を根據として現金または敗位 で勝金總統は数百圓に上るらしい **『から奉行、受賞者は次の通り** 馬山高等女叉校 二十日午旭山

十七日まで三日間、道内一斉に最 【清州】忠北では四月十五日から

忠北の桑の日

版大·店商邊田·京東

## 苗木でつさり積み 春。釜山に1 觀賞樹や山林苗が日毎に殺到

して翻来、二十四日をいし風世

一日續きの

釜山郊外は

人の老幼はその血管に觸れて見れば分る。 老年病の多くは血管病

紫癜の保健剤

から

報を創分けして潤い十九日に弥敷(法院と愛み、平和な一日であつ。 非部長が上城、領鮮神宮から御神(寰陀、大聡町知思寺夫神名寺院) でこの細胞刺が出来上つたのでは一般は、見意の影響のほか機能は高層氏等の微助があり登録の活動」にあたるので第一小學校では物

で侵寧坐は導受例つて右から生物で侵寧坐は本科八十八名、補書科十名、業生は本科八十八名、補書科十名、作品等を製技・二十三百年前



豫防には

血

から内可内が呼長に米代として支

保の政治物能人、切然機関の単位に正無限が抵別科一記金列の(ま)に 北柳山都側角面改変黒生れ住所不 迎り宮内被牧長から航役一年六月

> けること、藥物としては血管ホルモン劑 アニマザを常時連用するにあり。

(第二回) 六名で受賞者は

驗的試練により承認せらる。

むるのが本剤の特長とす 變を阻止し生理的に極め る、所調血壓低下劑と異 なる反動的昂進を結果す 低下せしめて却つて急激 彼の一時的に血腫のみを て自然に血壓を降下せし 血管及心臓の早期硬

出せる血管ホルモンにして、その どの憂鬱なる初老期症狀も消退し 安定し、頭重、不眠、僧念、眩暈な 類分が爽快に赴くことは多年の實 應用後日ならずして徐々に血壓は アニマザは血管内膜及中膜より抽 三〇號---二個九十個 89

硬直して弾力乏しく、從つて血管の使命たる血液 循環の順滑を缺き、血 壓 は 昻 逃し、延いては脳 か? 刺戟性食物、 興奮性飲料を節し然らば、血管硬化は如何にして豫防する 淡白ならしめ、身心の過勞と緊張とを避 鳥駄肉の如き蛋白質にして、血液を粘稠 ならしむる食物の撮取を減じて血流を 管ホルモン

あるものに於ても、心臓の機能低下が死期を早め加の現象にあり、又死亡の直接原因が他の疾病に血管・心臓系の早期障碍による死亡率が急激に増 たる場合も極めて多きてとは常に聞くところ。 實にこの血管の硬化にして、彼の怖るべき 壯年及老年期に入りて最も警戒を要するは 最近に於ける、壯年及老年者の死亡統計によれば **砂砂に原因する結果症狀に外ならず。** 腦溢血、狭心症、慢性腎臓炎等も、血管の 背臓、心臓等に種々の障碍を惹起するに至る。

柔軟にして弾力性を有するに反し、老人の血管は云はる、即ち若人の血管は新らしきゴム管の如く

# 

伊 法

## 病原菌と戦ふヘーフェ菌

變ぜず、しかもこれが一度人體內に入るや、體溫 談でなく、乾燥狀態に置けば却つて永年その効果を る。ヘーフエ菌の生活力の强制さは乳酸菌と同日の の協力によつて、脇管の組織細胞に活力を與へて、 その機能を根本的に强化するのである。 素の吸着、血液の海化を圖る許りてなく、生物界隨 し、强力なる乳酸酵素を發生し、有害菌の標域、毒 と體水分とにより、俄然として自己の生活を開始 といはれる豊富なるビタミン、ホルモン性物質等 をもたらしたのは、 の不便を除去して、腸治療界に革期的の進步 ヘーフエ説劑の後見であ

下痢を織け、全く清浄となるをまつて、波礁せる膓管細胞にきに與へれば、胃膓内に有害物が残存する間は吐瀉あるひは

「わかもと」の大量(※軽/SEEで図)を三三十分間置

うではない。例へば飲食物中毒ある。

**っひは急性傷カタル等の場てあるかといふに決してさ世性疾患にのみ有効であつ** 

らば「わかもと」は、所謂協

腸カタルに對する効果

就床の必要なく、従來のヒマシ油を與へて臨內容を排出し、ぎ、體力の維持を闘るから、早期に手當をすれば、殆ど患者は活力を與へ、直ちに吸收可能なる榮養素を締給して、褻弱を防

後整腸劑を呉へ、少くとも満一日の就床の必要なく、従來のヒマシ油な

賈通食に移るといふ方法に 比すれ

ば眞に隔世の感がある。

絶食後漸次流動食より、

腸の組織を強健化して

再

發 Ø

憂

V な

## 下痢も便秘も同一剤にて

消退する病原治療

曲を示すのは、全長示すもので勢しい時 上闘は脳管の配置を ,米を有する小鵬 傷である。 小鵬 起り結腸膨胀を で、左下部から は胃の幽門に 例へば下痢と煙秘と

**楼行部**、下行部、 大臨は盲脳に始 まり首脇に検言 粗織に活力を興ふるへ は、いづれも膓組織に 碍もその原因を尋ねれ あるが、この二つの障 て消退するのは當然で 處置を要せず、

處置を必要としたので して、従來は全く異る は全く相反する障碍と らぬから、脇管の根本 が衰弱したものに他な 異常を生じ、その機能 ば、下痢も便秘も異る ーフエ 菌療法によれ

## いかをとこ代用 雑なし、

樂劑の如く、一時症狀消退するも服用を中止すれば忽ち再發浄化し、すべての膓疾患を病因より驅逐するから、他の化學

收、糞便排泄を圓滑にする許りでなく、殺菌作用により血液を く、無力あるひは衰弱せる脇管の細胞を豊離強化して、榮養吸 々神經障碍、高血膨寒を起して早老短命を免かれざるは、既に

わかもと」は前述の如

の帰弱は、榮養不良、貧血、衰弱等を来すのみならず、屢來賜省は、全身に榮養を給與すべき根幹であれば、賜管

メチニコフ博士も説く所であるが、

の雑飯!る比較試驗に微してもの雑飯!る比較試驗に微しても、利益のみを適ふ襲局中には、これの報告の表記。要局中には、これの報告の表記。要別の本語の表記。要別の本語の表記。如くは、製法の表記。如くは、製法の表記。 ても明かである。でも明かである。名称類似する関注至離なる登明特別法至離なる登明特別はる る類似薬績出し、

錠劑三百錠入 固六十錢

症

發賣工

價

会の、向には整度のみ姿を吹集一瞬にても急去する。全関表信にて販賣するも、直接接賣元より差難を認 東京市芝 公園

> 適 應 \* 開 T. 虚 膓 弱乳幼兒 猪症

するといふ惧れなく、永續しての効果を保つを特色とする。 熟、油蛭更新 ないまとない 御教え、かりとない食 過行後、動行後、動行後、動行後、動行後、動行後、動行後、動行後、動

紙 瘕 產婦衰弱 傷。食怒不振。便私之下痢胃下トニー。胃疾散、胃潰 弱人工祭養見、弱ガク山衛化不良、祭便、站便、站 乳汁分泌不足。貼だの栄養つはり。至前産後の食剤。 劳老豪 一等期養弱。早老・スポー

## 腸 疾 憲 が 難 治 聞派層法 人體內に生活を開始し **記訳區 唇形** 飲食物中毒及び急性

なるだけ、障碍も決して單純でなく、種々の型や原 するといふ原因は弦にあったのであるる。 當然であつて、一度陽疾患に罹れば、一生腸で苦勞 な、單純な處置を以てしては容易に解決しないのは 水の漏る値所にはセメントを塗つて防ぐといふ様 因が錯綜して環はれるのを常とするから、従來の對 大た器管であって、その生理機能が複雑多岐 管は全長三十呎、面積八千平方糎に達する長 れる原因は? 下水管が閊えたからこれを押出し、

症療法の如く、

## メチニコフ博士の

## 唱道せる乳酸療法

に採息する有益なる細菌の活動によって栄養吸收、 管の生理を細菌學的に検討した結果、その中るに近代細菌學の泰斗メチニコフ博士は、膓

されると同時 に有害なる 作用が圓滑に 変便排泄等の を發見した 垒

罗影

り、 毒 の 障 に 種 の 障 種 の 障

活動の 細菌の

び及

衰等の 老、老

因をな

されてある。 直脳は小脇背後に匿 つてはS字狀部及び

門に終る。上窗にあ、肛

S字狀部に分れ

あつて、発見後數年ならずして我國藥品中第一 光明を點する、本邦唯一の禁用活性へーフエ菌劑で の生産高を有し、海外市場にまで信用を博せる、 「わかもと」が殆ど行詰まつてゐた賜治療界に て、まつ第一に「わかもと」を處方するの 今經驗ある醫師が、膓疾患の諸症狀に對し

て、人體に有

この事質

録なる乳酸菌を與へて有害菌を抑へ、膓内の殺菌、

が化を闘るのがメチェコフ博士の唱道した乳酸菌療

時治療界を風靡したのであるが、この

法であり、

樂劑 として蕎 ふれば、間もたく効力を失ふといふめて弱く、乾燥狀態に置けば直ちに死滅し、これを 療法の最大缺點は、乳酸菌そのものゝ生活力はきは

界的薬剤だからである。

**まとてある。** 

\*

盟兄の死亡率を組めてゐるが、例 のて、蛇鹿姫の衛生の破底や出

総督府の調査によれば出産児の て一人の 翔合(内地は 一五人 に は干六百名で、人口一萬人に對し 組合を作り、これに本府が文字通

といふ高い部を示してゐるので「)こととして唐、皆、「「「」」「「」」、「そう。」、「後一」」、「老婆死亡率は干人に對して二百四十名「對して九人の別合」で、きらにそ「組合の手で薫響さんを履む、可愛死亡率は干人に對して二百四十名 神と相談して不信生思想の犠牲と一般な有様である。そこで批解語で 平府 船頭跳では近く衛生 地方は七平方里に一人と云上記の をたてよるる の大部分は都像に単中され、跨付らしい赤ちゃんが澤山産れる訳説 りの重複役となって補助金を吸へ

してゐるので

臭を持ちくづす戲因となり今では ペモヒに狂靡して<br />
るた事を誤なが 一般のモヒに慰められてるたのが 整新をなして以来取しい気持ち 恋大臣李菜氏の長男と生れ人々 に襲動もならず令弟某氏が築るを認の能となつてゐたが妾の子 に自日、何同人は前疑菌時代の 、保質も配情してゐる

**応め毎日の如く萬引を働いては入** 

から府内各デバート取門に職場と

◆實施・第京より宗家東作一門の釣竿師器作が意場に出張して醫学製作の資資をお目にかけ ○主なる出品物 会種各様の参考品を蒐集して歴観するの外、即辺郎を設けて釣其一式

域

B

開露団局政岩本某氏で陣中の不便

を解く窓にて客館したものである

廿七日に葬儀

戦海を城却して行方を脚ました事

一島富槌

經道局では歴史で成立の郊外の職場いよ!)がと川の釣シーズン――

ら青山衆場で帰式に依り様行され 機は、米三二十七日午後一時半か 者則教資温監波澄疑太郎大将の第一

発症を設長は政府部部部本部一教育器局部附別多大佐に決定した

少將、陸軍有整備局長山盛少將、

釣り場案内圖

東京広話し、一天事性の優性

青山源場で

内地震を作襲する計画中であるが がはじる全部都原地正常の園園窓 一押し出す太公皇がおいので、

犬の

**京日號が活躍** 

金浦事件送局

名一個五名は盗局された

# 十五歳の少年泥棒

貝金屬怪流が

懐中に金時計を所持

人、メタル二面を鑑んで勝手口か ら出る例を翻家の解護士期内氏に 十二日午後二時四番海道生れ後 日銀行器以即氏方の留守宅に使 |職職隊では直ちに闘城外が勝守師|| 兵隊で割近の結果・京城新族前三|| たサービス陣である|| に出頭・隈名で弾目本を冷酷した|| 除に絶滅したが、右髎苔の寸は越|| きつける鱗武肿縦を

りの質礼敦校持つて目り、

細胞性が健定調べると、京阪府 りを風出敗包みを抱って逃げるや がある、廿二日区京城釧路仮市通

外解浦二〇〇李七段(%)一般名—

博多築港記念博は

で抱へた包みは路町、八端等高級一去る十九日地山步兵第七十八╬隊 御百本を寄贈

には金牌計一間その他金世間はか 早くも漢江に死魔

歌してゐる時一人冷い戀窓につな」れな姿に指しい誤を流してゐる人

不爵马令弟に渡つて

の男、萬引

年出版を允の魅器へ弱つた。 三日国族社の龍鷹等削齢圧下に貸 人が健妃、船の中には靴のオーバ が問者してあるのを附近の

は昔日見否がつきません れば素壁っしい』と総数してみた。 第10はありません、自教の原因。する質詢に任義宗宮は一斉に「こ常りはありません。自教の原因。する質詢に任義宗宮は「大が前轍・年で、代事に「貞國日だし、無「宗に犯人」だったとのでは、「東」では、「東」で犯人「忠宗」という。

主府モクバルテ事件を接って丁慢

復等は組織を対場テームと同様に 名一外九名の少年泥路を連加した 暗設立の逃げと將来繋祭方面に軍 で軍は随那なての他際官から戦成の正面が 間、通信県の館域番削田少佐の議議部件六十名は廿日東町全部を訪

現で独飾藝術大規語を見撃、何の

整備間では無差官戦部融資終了後一貫前に参加した軍犬は京日戦、

合中佐愛犬、山下戦・津田戦・松

野球チームを形どる

少年窃盜團橫

見學の警官感歎す

優等生香縣公里、

れは素明らしい。と意識してゐた「午順三時頃」

2新眼立地に盗明け、花の四月か「各方面からまで手腕く架めた球線」取もあり、北九州の春一しほ賑ふ便戦館1 は、いよく 廿五日か「部をはじめ嗚郎、台域、瀟淅など」でゐる、なほ僧稲中は算業選抜財 歴巻として 豪華を祝つ 抱いて死の途についたものらしい 繁く通べ 自戦の前後も同僚と共常に労男子では北カフェー等に足 歩き開始と別れて後報めた個々を 別な程度として想まれてゐたが非 楽出身、昭和九年前店に入り明 べると、投身自設の上に京城本 **高手、脱三願へられた靴が仮** 「おれてゐた、他山島で身都を 假名」と何つた、問君は監部 丁目如國馬を財田司二治古( 時年頃までカフエーを飲み

花の四月から五月へかけて

四日本の雄都賑は

友人は語る

脳間市が主張する「博多梨港記念」もとより、 層防菌、 参考館、 産業

多東海大工事の完成を記画して「て陸海軍から出品する科學兵器は「機蹬額の

い新田立地に臨此け、花の匹月か

好資料とし一だけあつて、今年各地で開かれる一

を、あらゆる部門に亘つて陳列し

(博名祭港博の曹操作門)

青田君の自教かんで信じらまれ、行は中止し、自下総合局に設可申 | R一盤が冠座郷谷するので、これ。同歴政会管所で同僚の人若は忠。の如く十年度に動金による定期が、関作中の展発三人貌の瓦斯電式は

の往復地行を行ふが、これで豫定一を確認するが、同世は頃には目下 京城、押里間定期郵便飛行を行つ 来る四月一日から更に同地間飛行 調中の旗航空事業曾社を明立し、 慎飛行士の計畫進む

彈は魔々登出の身邊に飛来したが思っまる漫画な塩面を展開し、流 こそぎに連御して重大使命を完全げたのだが、引動を爆撃一味を提 た元兄並四五はあへなく母類を強って即だし、茲に一世を徴駁させ て犯人金相玉はつひに流彈にあた 察科の三輪輩単は設後まで一歩も

り、所氏からは感謝と尊敬の念を 以来三院特別の名は蟹の如く傳は

れてある三輪村三郎難風は、京 住民から近米の名著長として規ま

は離虎層といふを組織し離る

顕振りはめざましいものがあつた。 質部 『豊保師事代』に続しての骸 ち期労犯罪を授與されるに至った

により事は未然に避発し一味は とをつきとめ、間月十七日早曜十 繋糸の暖品を団優すべき虱人便能を企てたが、常間の機能な活躍 動で京城三坂連に部伏してあるこ 気足を謂ると呼に形骸せんとした進成しようといふ恐るべきテロ 動で京城三坂連に部伏してあるこ 気足を謂ると呼に形骸せんとしため、潜風に飛じて後等の野宝を げつけ逃亡したが、蓄局終死の活 だり、連に犯人を継御して人心のめ、潜風に飛じて後等の野宝を げつけ逃亡したが、蓄局終死の活

調査部の指揮する一蹴が連弾に向 が騒せられたのだ、三輪等部は上 當時京城を戰慄さした金相玉

章配勞功察警

勲殊る語物が

今は元山署長の三輪警視

危機に陥ったのである。此の秋で

せられ繋が質局ははからずも重人 に割してはがら~~の非難があび 不安に襲はれた全府民は動揺し二

度までも記録犯人を取逃した當局

ある三輪舞部に拠重主任の命がく

大正八年の騒漫の熊波米だ全く

れ、常時日本の植民地統治に重 きさまらなかつた九年八月、ア

を買ふた、しかも金相志は蘇卵を一したのであつたが、當時酸碳の手一つた羽人は直ちに西岸の墾鯨をふされ个瀏繁が、掘出霽馬棚は風間」り、死を以つて便能を遠せんと別。縁の連路の距に當つた、これと知 海の基から京城通報調金更に宛のた、座かに根場に遺留された任工 国語の封筒だけが唯一のたよりで

E上つて庶営の機器をも開始する。 闘せな難覚飲料です。 R一型が完成調整するので、これ、フィン、院人、歌師、

**全春流行界の話題!** 

春に続けて丁子母では三月廿一日から四龍ホールで

來青閣で(衛門後編門

30mg(0

効 公 告

東京日本勧業銀行構內

四月 一日抽 使数等制增金元十四两人 無限 八二四 超段 大阿子曼等制增金元十四两人 無限 八二四 超段 大阿子曼等制增金元十四两人 無限 八二四 超段 大阿子曼

一年三月十

一人會ない。

鐵道

逃げた倉計係 果して費込み

数一千百四十周三十銭を横領し、 脱簿を調べると、昨年の末納治療 を確ましたので、不識に思い問 阳城湖月町二九四曹皇病院野北 小切手無効 「東京開始」 「東京開始」 「東京開始」 「東京開始」 「東京開始」 「東京開始」

出立ちする影信家庭女母校の卒業 各地へ报名学覧で拠近中 界門等

東大大大七七七二二二二一〇一〇〇〇 日内東昭弘87世紀三二〇一〇〇〇

盛大なる卒業式

近け、二十三日午間十時加校議院に行はれ、卒業院書位等は活躍な 成に続いて富永京波道知事の継順 等の提奨式があり、石原校長の訓

案內

振替京城二九七·電話本局四0五四京 城 府南 大門 通一丁目百二十二

元號**家** 

がにして眺めれ にして眺めない 

女中角

總友 總視 嗣城生 代人 代戚 子麻 有伊谷矢松今田植植蝦

賀森多永 田 野野八 光明喜三純清秀

豊治磨郎一德夫明質

東三四氏宅に俊人、手提金郎か

家職 

吸つてゐたもので被害品は且下報 む切る死在機械を置り、留守宅を

明しただけでも卅五件、約二十四

十回目の郵便飛行は廿四日

拿贝 株式會社・

指船は第一船が五月二十四日<u>地水</u>

[東京電話] 無道」の新観開釜連

金剛丸と命名

式を行ふが、二十三日前田郷相よ

疲勞擊退法

は一般を表現という。

朝司

鮮

殖 產 銀

行

行体秘書で 野汁、生房ご士写 生候也 時五分死去被致候ニ付此段謹 中ノ處樂石効ナク本日午前五 中ノ處樂石効ナク本日午前五 野行取締役植野動殿病氣療養

日確認所能に会さばしい「興安丸

と総名することになった

地所附き實住家地所附き實住家

株式會社

朝鮮貯蓄銀

行

前の原とで 

お盛に概念した、一味は何れも知

村木時計店人事係 (交兄同伴生意来 ) 東(高等料) (交兄同伴生意来 (中等料)

念く少年を果大門器既が聞べると

ル原里の街道で米二俵を捌いて

日午町六時年的京城府外號行

房下部に田面村(元)一般名…ボケ

トから十三ヶの合題が出て來た

けふの天氣

二研究學

鮮二

信託

株式

會

社

植野家葬儀御用達

れで、同じ型でなくちや駄目な がけど加渡って、A型B型AB めれ、野上さん。酸火さんは

野上にかけてるた。それは仮の城





|時日||〇分(京) 風の修選日

野上はから言つて、途中取場の

三昧線 竹本 極岩 年後零時五分 義太夫 新口村

# 呂 木 光 治△

▽四九飛(5分)

虎穴に入る (三)

本紙一萬號記念三千圖懸賞一等當選

もしやりこという期荷を、四美は 教目だしとは、思うるうも (101)

何程の報りもなかつた。気の所質

廿四日番組

のが重要なものに生れ掘つて家庭れ、今まで膨物と懸けれて居たも

春が來た!~お話の風、木の 木巻一語の形式が隠ればそこに成骸され

一放送

同六時五五分(車)カレントトピ 遅羅の姿



三敬指輪(終) 吉幹 選の修養

同九時(第)長頃 芳村市四郎外

廢物利用と子供

**粉華事岩佐彦** 

九州郵船株式會社

前

は E

卷山出帆 代理 和 丸丸

2 分理否 國際四鄰支店

れない様に 関連を表品の の常識近代人 では近用は今 では近代人

¥ 35 38 .55 1.20 2.00 3.00

鍵本クツチ頂丹

•御帽子に・ホクタイに

酒 .

にまで引下げてあります。 学校 日本で引下げてありますから、 受養債の監督がの関新があり、受養債の監督がの関系があります。 受養債の監督が、 日本では、 日本では、

會 社

一罐・五十銭

明治製菓株式

同二時(東)婦人の時間 生野 同六時(大)童話劇 電燈がつい

0000 で頭痛を忘れる

阳晶性 「卵胞ホルモン劑」

月經調整と 女性健康增進

注射液 百、至百、千、一点、至蒸、三主流単位あり。(五百単位) 10歳(1圓去) その続(1圓去)(五百単位) 10歳(1圓去) その続(1圓去)

\$6-366(O)

乳汁の分泌

足にも賞用せらる

月經不順 憂鬱症 四肢冷感 視力減退 原痛 耳鳴 腰痛 下腹痛

前修遵區東市阪大 店商衞兵長田武譜 元 赍 褒 町本市京東 店商春美新西小鞋 巴瑪代東蘭 即官大市時間 所究研究器 蘇武國帝 武 五 造 显

